

第2回和光市勤労福祉センター在り方検討委員会会議録

- 日時：令和4年3月23日（水）18：00～19：00
- 場所：和光市役所6階 602会議室
- 出席者：浜口 武 委員（1号委員）
田中 和巳 委員（2号委員）
真崎 聰一郎 委員（3号委員）
井川 美絵子 委員（3号委員）
田中 信幸 委員（4号委員）
中蔦 裕猛 委員（5号委員）
伊藤 英雄 委員（5号委員）
- 欠席者：なし
- 傍聴者：なし
- 事務局：細野市民環境部産業支援課長、田中産業支援課課長補佐、
南雲産業育成支援担当統括主査
- 議 事：(1)和光市勤労福祉センターの今後の在り方について

1 開会

○事務局（細野）

本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、第2回和光市勤労福祉センター在り方検討委員会を開会いたします。わたくし、進行を努めます、和光市産業支援課の細野と申します。本日は委員の皆様より、様々なお立場からご意見を伺えればと思います。

2 自己紹介

○事務局（細野）

次第に沿いまして、第1回は書面会議ということで、皆さま本日初めて顔合わせの方もいらっしゃるかと思いますので、自己紹介をいうことで、一言お願いできればと思います。

第1回の会議資料にもございましたが、和光市勤労福祉センター在り方検討委員会設置要綱第3条第2項において、「委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員のうちから市長が指名する者をもってこれに充てる。」と規定されております。この規定に従いまして、委員長を1号委員の浜口武様、副委員長を4号委員の田中信幸様の方の指名を受けております。それでは、浜口委員長から自己紹介をお願いします。

○浜口委員長

恐れながら委員長を務めさせていただきます、和光市商工会事務局長の浜口と申します。和光市商工会は、市内の産業支援、活性化ということに取り組んでいる団体ですが、コロナ化で事業者は大変な思いをされております。その中で、

商工会も様々な対策に取り組んでおります。

今回、アクシスの在り方検討委員会ということで、皆様と一緒に検討していきたいと思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。

○田中信幸副委員長

今回、副委員長を務めさせていただきます、田中と申します。近隣の事業所、原田製作所というところで、主に金属加工を中心に営んでおります。今、コロナがあったり、戦争があったりでなかなか厳しい世の中ですが、今回、アクシスを運営していく上で、予算などのバランスを見ながらお話ができればと思います。よろしくお願いいたします。

○田中和巳委員

下新倉で農業を営んでおります、田中と申します。よろしくお願いいたします。松ノ木島地区付近に土地を持っていたということで、アクシスの在り方検討委員会の委員になってほしいとのことでしたので、頑張って務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○真崎委員

真崎と申します。この度、利用者として指名されましたので、務めさせていただきます。私は40年以上和光市に住んでおまして、アクシスは開設当初から利用しています。いろんな公共施設を利用して、様々な考え方、思いがあるので、色々感じたことを述べさせて述べさせていただければと思います。

最初にアクシスの変更、ジムの閉鎖のことを聞いた時には、他との利用者の方とともにショックで、何でという思いでした。だけど、いろいろな財政状況の資料を見ると、これは厳しいなと感じました。その点も踏まえて、意見を述べさせていただきます。

○井川委員

井川と申します。主婦をしております。女性の立場として、市民の立場して、ユーザーの立場として意見を述べさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○中蔦委員

和光市企画部長の中蔦と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○伊藤委員

アクシスを所管しております、市民環境部の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（細野）

皆様、ありがとうございました。次に、事務局を申し上げます。市民環境部産業支援課長の、細野と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（田中）

産業支援課課長補佐の田中と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（南雲）

産業支援課産業育成支援担当の南雲と申します。よろしくお願いいたします。

3 議事 (1)和光市勤労福祉センターの今後の在り方について

○事務局（細野）

ここで、議事に進む前に本日の資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、まず次第及び名簿でございます。次に、あらかじめお配りしておりますが、資料1、和光市勤労福祉センター利用者アンケート集計表、資料2、和光市勤労福祉センター修繕関係実績となります。

また、第1回書面会議の際にお送りした資料として、和光市勤労福祉センターの経費の推移、和光市勤労福祉センターの利用実績につきましても、あらためてお配りしておりますが、不足しているものがありましたら、お知らせください。よろしいでしょうか。

では、これ以降の議事からは、浜口委員長に議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○浜口委員長

それでは、議事に入ります。(1) 和光市勤労福祉センターの今後の在り方について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（田中）

最初に、施設の概要、今回の委員会の設置について、説明いたします。

和光市勤労福祉センターは、工業団地、工業専用地域として整備した旧松ノ木島地区の土地区画整理事業地に、勤労者のスポーツ及びレクリエーションの振興等、勤労者福祉の増進を目的とした体育施設及び集会施設として整備され、平成4年にオープンしました。

当初は市が直接運営する施設でしたが、平成23年度より、市民サービスの向上や、経費節減を目的とした官民連携の事業手法である指定管理者制度を導入し、公募して選定されたシンコースポーツ・サンワックス共同体が現在運営しております。

当施設については、令和3年10月に公表された、市役所【事業】総点検対応方針において、「設備の老朽化に伴い、現状提供しているスポーツジムの機能

の維持が困難であることから、貸室などの機能に絞ったうえで、指定管理者制度から直営業務委託方式に見直す。」という方向性が示されております。

これを受けて、和光市勤労福祉センター在り方検討委員会を設置し、その要綱第2条において「委員会は、和光市勤労福祉センターの運営方式その他の和光市勤労福祉センターの在り方に関して検討し、その結果を市長に報告するものとする。」と規定されております。

当委員会においては、この点を審議し、審議結果をまとめた報告書を作成して、市長に報告することとなります。

次に、配布資料の説明をいたします。

まず、前回第1回にお配りした資料の説明になりますが、「和光市勤労福祉センターの利用実績」をご用意ください

最初に1番、営業日実績ですが、アクシスは毎月第4月曜日と年末年始が条例で休館と定めており、原則として年間の営業日数は変わりませんが、令和元年度、令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、臨時の休館日を設けたことにより、営業日数が減少しております。

次に2番利用者実績についてですが、こちらはアスレチックジム等の個人利用と、アリーナ、会議室等の団体利用者数を記載しております。アスレチックジムにつきましては、類似の和光市総合体育館、朝霞市のわくわくドーム内のジム利用者を記載しております。こちらは、コロナウイルスによる臨時休館によって、令和元年度、令和2年度の利用者数が減少しております。

3番の利用料金収入実績につきましては、ジム等の個人利用者、市内なら360円、市外なら540円ですが、その利用料の合計、アリーナ等の団体利用による各部屋の利用料の合計、指定管理者が行う教室、貸しロッカー、物販等の事業に伴う収益の合計となります。こちら、コロナウイルスによる臨時休館による利用者数の減少に伴い、減少しております。

次に、「和光市勤労福祉センターの経費の推移」をご用意ください。こちらの資料は、勤労福祉センターの運営に際しての歳入、歳出に関する収支を記載しております。

先に述べた通り、アクシスの運営に関しては、指定管理者制度を導入しており、市が運営を行う指定管理事業者は管理料を払い、事業者は管理料と利用料金、事業者自らが行う自主事業の収益によって施設を運営しております。

市の管理料は、概ね4100万円台であり、全体の歳入の約7割弱を占めておりますが、令和2年度につきましては臨時休館による利用料、自主事業収益の減少と、管理料とは別にコロナ感染症に対する事業支援金を支出しており、市の管理料等が歳入の約85%となっております。

歳出につきましても、概ね6000万前後で推移しておりますが、令和2年度につきましては、臨時休館により、お風呂等の光熱水費や教室事業中止に伴う支出が減少しております。

次に、今回お配りした資料になりますが、「資料1 和光市勤労福祉センター利用者アンケート集計表」をご用意ください。

令和4年1月26日（水）から2月27日（日）まで、アクシスの利用者に対し、施設窓口でアンケート用紙に配布し、143人の方より、ご回答がありました。年齢、住所、職業の構成につきましては、資料のとおりとなりますが、幅広い年齢層、職業の方から施設をご利用いただいております。

利用回数につきましては、週に1～2回程度の利用者が全体の7割を占めており、勤労者の方々の余暇の一環として利用されていると思われまます。利用料金につきましては、全体の3割が安い、6割がちょうどよいということで、ご好評いただいております。

施設の良い点につきましては、複数回答をお願いしております。任意の記入による自由回答についても、お風呂が広くて気持ちが良い、同様意見が15件ございました。指導員、講座講師、スタッフが親切である、同様意見が9件ございました。ヨガ教室など自分の状況応じた講座、教室が充実している、同様意見が8件など、多数の良い点を記載いただいているところです。

アクシスの今後の在り方について、ご意見、ご要望などにつきましては、記入による自由回答ということで、お一人の方から複数のご意見をいただいている場合もあり、要望や改善点、ご提案など様々のご意見をいただいております。一番多かったのは、講座や教室、お風呂、アスレチックジム設備は健康増進のため必要であり、今までどおりの運営継続を強く望む（同様意見42）であり、講座・教室の存続やジムに関する要望、料金に関する要望などがありました。

次に、「資料2 和光市勤労福祉センター修繕関係実績」をご用意ください。こちらは、和光市勤労福祉センターで行った課過去5年間の修繕を取りまとめたものになります。

施設の修繕については、運営を行う指定管理事業者が運営予算の中で行うものと、市が4200万の指定管理料と別に支出して行うものに分けられ、各年度ごとに、修繕を行う主体、項目ごとに分けて記載しております。

先に述べたとおり、アクシスは平成4年にオープンしてから30年を経過しております。PASなど電気系統や非常放送設備など施設の根幹部分につきましてはすでに更新を行っておりますが、お風呂のお湯を溜める貯留棟やダクト型の空調設備など、30年前の導入当時のものをそのまま使っているものがあります。

また、浴室関係につきましては、各圧送ポンプの交換や漏水の修繕、サウナですと加温器や壁板床板等の交換を定期的に行っていく必要が生じております。今後も施設を安定して稼働していくためには、未だ更新できていない設備の交換や、さらなる修繕が想定されるところです。資料の説明は以上です。

○浜口委員長

一つ事務局に確認してよろしいでしょうか。議題は今後の在り方ということで、今日この場で在り方を決めるということではなく、意見をお聞きする、質問をお聞きするということがよろしいでしょうか

○事務局（田中）

委員長のご指摘の通り、今回はこの場で結論を出すわけではなく、現状こうなっているということに対して、ご意見を伺えればと思いますので、よろしくお願いいたします。

○浜口委員長

ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、よろしくお願いいたします。

○真崎委員

個人の意見としてはこのまま続けてもらいたいのですが、利用者としての意見を述べさせていただきます。まず、修繕費がかかる、コストがかかりすぎるということで、毎年400万、200万という金額をかけてますね。

修理を続けてきたのですが、今、施設の限界がきている中で、今後施設を継続するには、いったいいくらかかるのかという見込みを考えると、やっぱりだめなのかという気にもなります。

通常は保守点検等をして、劣化するのは当然だから、その見込みを考えた上で修理をする。修理をすればその箇所はもつのだから、そのもつ期間がどれくらいなのか。その期間が過ぎればまた修繕を繰り返すということが続けていけば、経費的には無理ですよね。

ただでさえ約4000万の費用がかかっている中で、修繕費が増え続けるのであれば、どこかの出費を抑えるしかない。じゃあどこを抑えるのかと見れば、4000万の半分以上は人件費なんですね。人件費を削って管理するのであれば、ある程度採算は合うのではないかと思います。

そうなると、施設を継続するには直接管理方式にして、運営は管理だけにすればよいのかなあと感じます。ただ、そこにいくまでに、まだやるべきことはあるのかなあとも感じます。修理について感じことは以上です。

利用者が減っている、収入が減っているのは分かりますし、収支も毎回マイナスを背負っていて、予算の枠を超えた状態が続いているのに、何でもっと早く手を打たなかったのか、というのが私の感覚です。

老朽化によって設備の維持は費用がかかるので辞めますという話を聞いて、利用者としては何でという思いでしたが、予算の枠組み、配分、使い方、修理のやり方、いろいろとありますが、過去5年間の動きから見ると、今まで悪化してきた中で、今から何とかしようとしても、資料を見ると無理だねということになってしまうのではないかと思います。

これから維持していくにはこれだけ費用が掛かりますよという数値があれば、もっとわかりやすいのでしょうか。

○事務局（田中）

修繕関係についてですが、公共施設のマネジメントの中で、修繕の方は計画し

で行っていく形となります。例えば、高圧の電気を引き込む設備のように、計画して費用をかけて実施しているものもございます。

一方で、浴場の漏水やトレーニングマシンの故障など突発的に故障する修繕もありまして、こちらはあらかじめ緊急修繕費と計上しているもので運用しておりますが、最近は緊急修繕費を超える修繕が多くなってきております。年間でこういう修繕を行っていきましょうという計画と、実際の故障に追い付いていない現状がございます。

先ほども申しましたが、抜本的に更新が必要な設備も行えていない現状があり、修繕計画と実際の施設の状況が乖離している面がございます。

○浜口委員長

他に何かご意見ございますか。

○田中信幸副委員長

こういった施設を維持していくにはコストが必要だと思いますが、突発的な修繕が増えてきたというのは、老朽化が大きいのでしょうか。それとも、トレーニングマシンのような備品のものの修繕が多いのでしょうか。

○事務局（田中）

施設を運営していく上で、どうしても経年劣化によって故障していく設備がございます。例えば電気設備のように、何年間使用したら交換を推奨するものがある、更新時期がきたら予防保全的に対応していくのが一番ベストではあるのですが、交換の時期がきたものをすべて更新して対応していくには膨大なコストがかかってしまいます。

予算のやりくりの中で、予防保全ではなく耐用年数が過ぎても壊れるまで使って、壊れたら直す形になっている現状があり、これが突発的な修繕となっている面もございます。

トレーニングマシンの故障のように、本当に突発的に故障するのものもございますが、一方で経年の使用でそろそろ更新時期だけど、予算の都合上できずに故障してしまうという、両面がございます。

○田中信幸副委員長

先程、PASの話がでましたけど、かなり高額ですよ。やっぱりコスト面は、劣化していくと新しい時よりも増えていきますよね。今後継続していくと、コストがかかっていくことになりますよね。

○浜口委員長

資料の利用者のところで、28年度から令和元年まで毎年約2万5千人とありますが、この人数は延べ人数ですか。

○事務局（田中）

延べ利用者の数になります。

○浜口委員長

アンケート集計表の利用回数の項目で、週に1回から2回程度利用の方が約7割、週に3回から4回、ほぼ毎日利用の方を含めると、85%くらいの方が週1回以上利用されているということで、よろしいでしょうか

○事務局（田中）

その通りです。

○真崎委員

市内の各施設を利用した方と、利用していない方がいらっしゃると思うのですが、私も60歳をすぎて初めて利用した施設があったと知って、こんなものがあるんだと思ったこともありますが、施設を利用しない人にとっては、こんな施設いらないよという人もいると思うのですよね。民間なら、使っている人が少ないから、採算が合わないから辞めちゃおうということになりますよね。

でも、公共施設は、何のためにやるのか目的があるのだと思うのですよね。ジムなら健康促進とか。アクシスも、最初に建てた目的があったと思うのです。その目的に対して、時代の流れの中で変わっていくこともあるのですよね。

ただ、今まで使っていた人にとっては、ちょっと待ってくれという思いがあります。使っていない人からは、いらないよ、税金がもったいないよねということもありますよね。

じゃ、どこの分岐で持続するか、辞めるのか決めるにしても、ただ人数が少ないから辞めるというのは違うと、私は思います。

○井川委員

人数の点でいうと、SNSで告知したり、カリキュラムを魅力的なものにして充実したり、利用者を増やして解決できないかなと思ったのですが、私自身も以前は関心が薄かったのですが、自分の健康管理を行う上でとても役立っている施設です。そういうことを知れば、市民の方でも利用したいという人もいると思うのですが、そこに届いていないと思います。

それと、私は車で移動できますが、施設へのアクセスが悪いですね。でも、主婦の人や子育て終わって一段落した人が、健康管理に利用しようと思えばとても役に立つと思いますし、和光市にとって絶対にあった方がよい施設だと思います。

ただ、予算や老朽化の資料を見た時に、プラスマイナスゼロぐらいだったらまだよいのだけど、これだけ赤字だと厳しいなと思いました。車でも何年も乗っていれば修理費が高くなりますし、予算のこともありますがこの施設は諦めて新

しい施設などを建てた方がよいのではと思います。

朝霞のわくわくドームなどはホームページで見ましたが、新しいし安いですよ。和光市も住みやすい街として発展させるためにも、もっと新しくて充実した施設があるのが一番よいのではないかと思います。

私はお風呂が好きなので、ゆめあいのお風呂にも行きましたけど、やっぱり運動してお風呂に入るのがよいですね。総合体育館にも行きましたが、シャワーしかないのと、若い人が多くしゃべっている場面を見て、コロナ感染が怖かったです。アクシスは人が少ないので、利用しています。

○真崎委員

アクシスは人が少ないからいいという人もいます。

○井川委員

私も引っ越してきて、最初に施設に行くまで踏み出せないこともありました。だから、イベントとか踏み出せるきっかけがあればいいと思います。ゆめあいのお風呂は、年配の方が利用しているのですよね。健康寿命を考えるなら、アクシスのお風呂を利用してもらうことで、間口を広げることもできるのではないかと思います。

○浜口委員長

アンケートを見ると、とても好評ですよ。

○真崎委員

実績や経費を見ると、利用者としても継続してほしいという意見も難しいと思います。費用がなければ維持できませんよね。アクシスは来る人によって、アリーナを使う、会議室を使う、ジムを使うなど皆目的が違いますよね。

費用から攻めるのか、利用者から攻めるのか、歳入歳出から攻めるのか、直営方式なら収支を考えるのでしょうかから、ジム等、お風呂がなくなれば修理費もなくなる、人件費もなくなってコストが安くなると私は思っています。利用者としては、何としても残してもらいたいだけでも、実際には資料をみるとしようがないと思います。

じゃあ、利用者に納得してもらって、ジムとお風呂は代替え施設があるならその案内と、会議室など残す設備を運営するにしても費用が掛かりますよね。それをあと何十年続けるのか、費用を抑えるための一時的なつなぎなのか、運用目的が全く違う、公民館のようなイメージに変わった場合には、もうアクシスには行かないという人も出てきます。

長い年月で建物も老朽化していく中で、市の計画ではあと何十年置くのですか、それともどこか移転地があって、規模を縮小して建てて運営していくのでもいいのかなと思います。

びっくりしたのが、ハザードマップで見ると、アクシスは浸水区域に立ってい

るのですよね。住民が住んでいないし、これはまずいなあと思いました。アクシスの地下の駐車場は水が溜まりますよね。この先どうするかも踏まえて考えつつ、今どうするかを決めていかなければならないと思います。

○浜口委員長

田中和巳委員はいかがですか。

○田中和巳委員

旧の松ノ木島区画整理組合の関係者で今日は来てますが、区画整理は自分の父親の代のもので、アクシスはその当時に建てられたものですが、当時の関係者はほとんどいなくて、組合も解散しておりまして、その繋がりですら今回出席していません。

私も開設当初に利用しましたが、ほとんど利用していないので、どちらでもよいというのが正直な意見です。ただ、資料を見させていただいて、利用者も結構いて、これから経費もかかって厳しいのだらうと思いますので、真崎委員の意見を聞いて、これからどこか別に施設ができればいいのではと思います。集会所としてでも、あのような施設は和光にあった方がよいのではと思います。

○井川委員

一から建てるのは経費が掛かるのであれば、今の施設を徹底的に直して、アピールして利用者を増やしてというのはできないのかなと思います。一からあれだけの施設を建てるのであれば、何億もかかりますよね。その半分でも掛けて、直すのはいかがでしょうか。

それと、地震などの天災など不測の事態があれば、お風呂や会議室が利用できるので、存続することも必要だと思います。

○真崎委員

直営方式になったら、どうなるのかという疑問もあります。

○中蔦委員

直営方式になった場合、経費はどれくらい減額になりますか。

○事務局（細野）

基本的には半額以下になります。

○伊藤委員

人件費が大幅に下がります。

○中蔦委員

ジムとお風呂が抜きで、半額ということですね。

○真崎委員

修理実績で見ると、お風呂とジムの修繕費を足すと、全体の割合に比べ毎年まさっていきますよね。これは苦しいと感じましたね。

○伊藤委員

やはりお風呂とジムのこのまま継続するとなると、4200万円の運営費は恒常的にかかっていってしまいます。それ以外に修繕費が年々かかっていってしまうという現状がございます。利用者の方からは残してもらいたいのですが、行政の立場では費用を考慮してという形になります。

○井川委員

費用対効果としては、バツですね。ただ、代替施設のようなものは、あった方がよいのではと思います

○中蔦委員

代替施設ですが、和光市では広沢の「おふろの王様」のような、民間の力を利用したPFI事業を行っており、アクシスも民間活力導入の検討を行ったのですが、民間対話等を踏まえ、結果的には実施にいたらなかった経緯があります。アクシスに代わるものを建てるという行政計画は、今のところない状況です。

○伊藤委員

ただ、今日いただいたご意見、代替施設を検討してもらいたいという意見は、委員会として市長の方に答申することはできます。今日この場で在り方を決定するのではなく、仮にこうなるなら、こうしてもらいたいというご意見を会議録という形でも、市長の方へ提言することができます。

○中蔦委員

イメージとして、アクシスは廃止するのではなく、コンパクトにして運用するというのが所管課の考えだと思います。

○伊藤委員

縮小というのは、利用者にとってはつらいでしょうが、建物は残りますので、建物の利用は引き続きできます。ただ、お風呂とジムが今回ネックのところ、この場を持たせていただきました。

○井川委員

人件費が少なくなったとして、大きな支出はなくなりますが、それで採算は取れるのでしょうか。

○伊藤委員

あくまでも収益を出してということにはならないと思います。

○中蔦委員

貸館機能に特化すると、利用料はいただきますが、その収支はイコールにはならないですね。

○真崎委員

最初は、12月にお知らせの紙をいきなり渡されて、3月で終わりだと聞いたんですよね。そしたら否決されたと聞きました。簡単に通らなかったのは、やはり問題があったんだよねと思ったんです。もう一回練り直すということで。

○中蔦委員

今後の在り方というより、内容以前に決定のプロセスに問題があったということでした。

○伊藤委員

費用対効果の面では致し方ない方もいらっしゃるのですが、手続きについて利用者のご意見を聞く場を設ける必要がありました。

○浜口委員長

今日、この場で結論を出すわけでないので、今後の進行につきまして、事務局よりお願いします。

○事務局（細野）

本日、委員の皆様より寄せられた意見を集約しまして、次回の委員会につきましては、4月下旬くらいを想定しておりますが、次回までに資料として作成いたします。

その場で、市長への報告書を作ることになるかと思いますが、単純にマル、バツで問うことでなく、皆様のご意見を反映したものを作りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○真崎委員

直営委託方式に変わった場合は、ジムとお風呂を辞めますということになるのでしょうか。

○伊藤委員

建物は残し、ジムとお風呂を廃止して貸室機能に特化する市の意向です。

○真崎委員

経費が掛かるので、風呂とジムは廃止し、アクシスは残しますということですね。

○井川委員

先程言ったとおり、徹底的に修繕して、リニューアルしてオープンするというのは、やはり難しいのでしょうか。

○伊藤委員

今までどおりだと、経常的に4,000万円以上の経費がかかる上に、修繕費も加わりますので、難しいですね。

○井川委員

とにかく場所が不便ですよ。もうちょっと、駅の方とか住宅街に近ければよかったです。

○浜口委員長

その他、委員の皆さまから何かご意見等がございませんか。無いようでしたら、以上で本日の議事は終了となりますので、事務局にお返しします。

5 閉会

○事務局（細野）

それでは今日の会議は、これで終了させていただきたいと思います。あらためて、委員の皆様にご日程の調整をお願いすることになるかと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。